

混合堆肥複合肥料

エコレット 208

For ハクサイ



ハクサイにおける肥料使用ポイント

- 浅根性作物なので、しっかりと有機物を使用し、土壌の物理性の改善に努めます。
- 窒素過多は、芯腐れ症、縁腐れ症、ゴマ症を助長するので、基肥には緩効性肥料が好ましいです。
- ハクサイ等のアブラナ科野菜は、ホウ素要求量が多く、欠乏症が心配されます。

堆肥＋化成肥料＋微量元素のトリプル効果！エコレットが最適！

『エコレット』のココがハクサイに効く！

＜堆肥＋化成肥料＞

初期から緩やかな肥効を示すため、生育が安定し、株の揃いが良い。

→ 窒素過多になり難く、生理障害が軽減。

＜微量元素（ホウ素、マンガン）＞

欠乏症による生理障害の軽減。

ハクサイの生理障害



芯腐れ症

エコレット208を使用した施肥設計（例）

区分	肥料名	投入量 (1aあたり)	成分量（1aあたり）		
			チツソ	リンサン	カリ
基肥	エコレット208	12～14kg	1.4～1.6kg	1.2～1.4kg	1.0～1.2kg
追肥	エコレット208	4～6kg	0.5～0.8kg	0.4～0.6kg	0.3～0.5kg
合計			1.9～2.3kg	1.6～2.0kg	1.3～1.7kg



朝日アグリア株式会社